

「パラリンピックについて知ろう」

～目標に向かって力強く生きようとする態度を育もう～

校種・学年		小学校・特別支援学級			教科等	総合的な学習の時間
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	30時間 1・2学期
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	情報収集用資料、まとめ用具 作文用紙 等

1 プログラムのねらい

- 調べたことや体験したことを適切な方法でわかりやすくまとめ、発表することができる。
- 体験活動や講演、障がい者スポーツのルールや道具の工夫を知り、あきらめない気持ちや支え合うことの大切さに気付くことができるようにする。

2 プログラムと既存の学習との関わり

- 本校特別支援学級児童は、苦手な課題に対して気持ちを向けることが難しかったり、あきらめてしまったりする傾向が見られる。パラリンピックについては、知識が少ない実態を踏まえ、①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現の4つの探究的な学習を行っていく。④まとめ・表現では、発表会を設定し、伝える相手を明確にすることで目的意識をもって取り組むことができるようにした。

3 指導計画（30時間扱い）

時間	主な学習活動・内容等
3	1 オリエンテーション・課題設定
10	2 情報収集・体験してみたいことを選択・体験
3	3 整理・分析
14	4 まとめ・表現（本時：発表会）・講演会 等

4 本時の学習指導（本時 25／30）

時間 (分)	学習活動	支援・留意点等
4 38	<ul style="list-style-type: none"> ○導入（前時までのふり返し、本時のめあての確認） ○調べたことの発表 <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの意味やマーク、歴史（本・絵巻物） ・パラリンピックの競技内容や工夫（模造紙） ・用具の工夫（写真・絵）、選手（写真・作文） ・体験して感じたこと（写真・作文） ○感想発表 ○学習をふり返し、自分の考えやこれからの生き方について記述する。 ○作文の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の動線を配慮した場の設定を行い、主体的に発表をすることができるようにする。 ○発表の順番や場所、声の大きさ等見通しをもって行うことができるよう、環境設定する。 ○書き始めを提示することにより、安心して自分の思いを書くことができるようにする。
3	○終末（まとめ及び次時の確認）	



5 おすすめのポイント（さらに、効果アップ!）

- 情報収集し、まとめをするとともに体験や講演を組み合わせることにより、自らの考えや今後の生き方について、より深く考えることができる。
- 個に応じた支援を行い、やり遂げた達成感を味わわせることで、意欲の向上につながる。